

西条ロータリークラブ 週報

週報 2022年10月6日 10月第1例会

例会日 木曜日 グランラセーレ東広島

会長 平賀 弥泉 副会長 松重 宏治 幹事 奥本 哲之 副幹事 木村 優一

本日の例会 第2780回

- 12:30 点鐘 (平賀会長)
ロータリーソング斉唱
お客様の紹介 (松重副会長)
会長時間 (平賀会長)
入会式 村上 和秀 会員
- 12:40 会食時間
出席報告
スマイルボックス発表
委員会報告
幹事報告
- 13:00 本日のプログラム
卓話 国際ロータリー第2710地区 ガバナー 石川 良興 様
- 13:30 点鐘 (平賀会長)

お知らせ

★今後の例会スケジュール

- 10月13日(木曜日) 例会休み スポーツの日(10月10日の振り替え)
- 10月20日(木曜日) 英語暗唱大会の発表(奉仕プロジェクト委員会(青少年))
- 10月27日(木曜日) 広島大学理事・副学長 佐藤利行様
- 11月 3日(木曜日) 例会休み 文化の日
- 11月10日(木曜日) ロータリー財団について
- 11月17日(木曜日) ゲスト卓話例会
- 11月27日(木曜日) 例会休み (11月23日の振り替え) 勤労感謝の日

『あしながおじさん』 ジーン・ウェブスター

毎月一冊、好きな小説を紹介していますが、今月の一冊は世界中で100年以上読み継がれている児童文学の傑作『あしながおじさん』です。

孤児院から高校へ通っていたジュディに、匿名の人物が彼女の文才に注目し、大学へ行かせる援助をしたいとの申し出がありました。そのための条件はたった一つ、大学での日々を手紙に書いて送ることでした。ジュディは大喜びでその申し出を受け、その謎の人物を「あしながおじさん」と呼んで、大学での出来事をせっせと綴ります。この物語はジュディから「あしながおじさん」へ宛てた手紙だけで構成されています。

子供の頃、この本を読んだ時には、このシンデレラ的なハッピーエンドのストーリーの主人公を何とラッキーな少女なのだろうと思っていましたが、大人になって改めて読んでみると随所にこの少女の孤児としての苦悩が書かれてある事に気づきました。

一番胸がつまりられるエピソードは、あるクリスマスの事、あしながおじさんから贈られたお金でジュディは自分にプレゼントを買います。そして、彼女はこれらを架空の家族からプレゼントされたものと思い込もうとするのです。

「時計は父から、毛布は母から、湯たんぽは祖母から、ここの気候では私が風邪をひくといつも心配しているのです。そして、黄色い原稿用紙は弟のハリーから。絹の靴下は姉のイザベルからで、マシュー・アーノルドの詩集は伯母のスーズンからです。伯父のハリーからは辞典、伯父はチョコレートをくれると言ったのですが、私の強い希望で辞典にしてみました」

親も兄弟も親戚もない孤児のジュディがいかに寂しい思いでクリスマスを過ごして来たかが察せられます。

物語の中で、もう一つ気になったエピソードがありました。それは日曜日の朝の礼拝での主教の言葉に憤慨したという話です。主教はこのように話しました。

「聖書で我々に示された最も有益な約束をお話ししましょう。『貧しき者は汝らと常にともにある』 貧しい人達は、私達が慈悲深い人間であり続けるためにこの世界に置かれているのです」

つまり、貧しい人は裕福な人にとって善を行う為にある有益なもの、家畜のようなものだとしてジュディは受け止めたのです。これはどんな慈善活動でも、その行為よりも心持ちが問われているんだという事です。自らの善根を積むためにするんじゃない、功名心でするんじゃないという事です。この事は私達も奉仕活動をする上で気をつけなければならない事だと思います。

さて、最後は思わぬハッピーエンドを迎えます。「あしながおじさん」とは一体誰だったのでしょ。まだ読んでいない方にネタバレになりますので申しませんが、ぜひこの本を手にとってみて下さい。



ゲスト卓話 「こども食堂について」 さとの会代表 宮田 朋子 様



こども食堂の歴史や現在の活動等丁寧にご説明頂きました。

こちには!
さとの会です

S しゅべる
A あつまる
T たべる
O おもむ

さと SATO

のさと
の会

さとの会
のはじまり

2017年 映画『さとにきたらええやん』を観て・・・

大阪府堺区東3丁目。旧「白雲」中学校の跡地に建てられたさとの会23年しおくり施設を巡る「こどもの里」。「さと」と呼ばれるこの場所では様々な事情から親元を離れている子だけでなく、子どもたちも休養できる場として、それぞれの家庭の事情に寄り添いながら、貴重な地域の拠り所として寄り添っています。

映画は「こどもの里」を舞台に、時に痛み、立ち止まりながらも力強く成長していく子どもたちと寄り添う場所作りを担う子どもたちと大人の心の揺れ動きを見つめながら、子ども大人も抱えている「しんどさ」と格闘する人々の切実な姿を露骨に描き出している。あらためて注目されている『こどもの里』の取り組みは、これからの社会を歩む私たち子ども大人も安心できる「居場所」のヒントが、隠れている。

2017年

東広島に「こどもの里」のように大人も子どもも安心できる居場所をつくりたい

なぜそう思うのか

自分の考えで動くより、相手に合わせていきることを要求される

自己責任ばかりが強調される社会

生きづらい社会

2017年～2018年

実現までのステップ

仲間を集める → 月1回の学びあい → 見学する

やりたい → やれる・やろうに変わっていく

運営方針を決定

名称	SATO (さと)
目的	つながりにくい日常のなかでそこに行く元気が出る居場所をつくる。
対象	誰でもOK
資金	東広島市まちづくり応援補助金 応援して下さる方の寄付金
スタッフ	共感してくれる仲間



居づ実 < 場 > り 所の 踐

1年目の活動 食べて交流する 月1回の活動 2019

開設場所
福雷 福雷久喜地域センター
黒瀬 上瀧自宅
八木松 AOIケアリングステーション

2年目 コロナ禍 活動の変化 月2回ずつの活動になる 2020

3年目 活動の充実 まきばのばんごはんの立ち上げ 2021

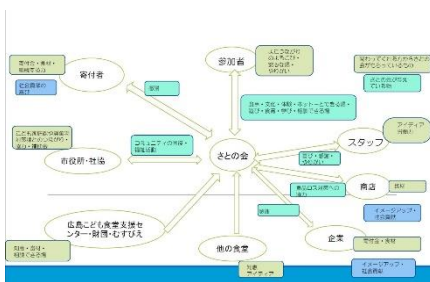
4年目の活動 継続している 2022

2021年から各自治体協議会がこども食堂をつくらようになる

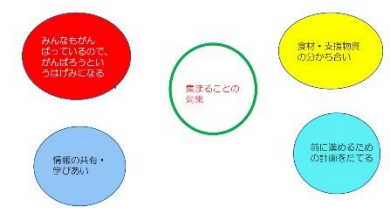
4年目の活動 継続していく 2022

さとの会のやくわり

- 食べて人をつなげる
- こどもたちが、親以外のおとなにであう場の提供
- ひとりの人として大切にされ、あんしんできる場の提供。
- さまざまな学びの提供



月1回のさとの会 それぞれの活動の様子を伝えあい、共有する



- これからのさとの会について
- 自立 支度を建やす仕組みづくりと自分たちでも資金を得る活動
 - 継続 これまでやってきた活動を続けよう、無理しないで続けて行く。
 - 学び 情報交換をし、参加者やスタッフの声を聴き、お互いに学び合う。
 - 反省 自分たちの活動が一人よがりになっていないか、考え直すことでいく。

ステークホルダーで分るような各面とつながって、私たちの活動は広がっています。ローリングケアがあることも、実支援を通して、こども食堂とつながりをつくることができるようになりました。

私たちが始めたのは非営利活動ですが、東淀川市にもこども食堂が設立されているので、嬉しく思います。無償はしない、自分たちのできることで活動できるのが、こども食堂の強みだと思います。

これからもいろいろと相談とつらさがあっても、地道に続けていきます。

ご理解ありがとうございます。

スマイル・ボックス (Smile Box) 9月29日例会出宝分

本例会：0円

出席報告 (9月29日例会)

お客様の紹介

さとの会代表
宮田 朋子 様

株式会社 総合広告社
村上 和秀 様

◆会員数 35名 ◆出席者 32名 ◆来訪者 2名 ◆欠席者 3名
◆9月8日の欠席者 10名 ◆メイクアップ 10名

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

